

令和5(2023)年度 児童館事業年間活動報告書

＜様式10-1＞  
養正児童館

活動名	実施回数	参加人数											内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計			
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
2) 遊びの教室活動															
おはなし会	12		11	360	1	45	2	35		1	1	456	毎月1回「京都おはなしを語る会」の方々に来ていただき、絵本の読み聞かせや民話などの語り聞かせを行った。	毎回の語り聞かせを楽しみにしている子どもたちも多い。自由来館の参加を増やすことが課題である。	
3) 行事活動															
避難訓練	11		14	304		46		1			1	366	火災や地震、水害等の災害時や不審者対応の避難行動訓練を行った。	毎月様々な状況を想定した訓練を積み重ねることで、避難行動が身につけている。今年度は下鴨警察署と連携をして、不審者対応の訓練を行うことができた。	
てづくりウィーク	13		2	53		9						64	オリジナルの七夕飾り作りを行った。	七夕飾りは短冊を書き笹に飾り付けをしたことで季節を感じられる工作となった。工作の機会を増やすこともしていきたい。	
児童館で楽しもウィーク	5	1	7	38	1	7		1				55	4月に自由来館の垣根を下げる目的で行い、プラ板キーホルダー作りと館内クイズラリーを行った。	初めて児童館に来る児童もおり、そこからの児童館利用につなげることができた。また、参加した子どもたちも喜んで工作とラリーに取り組んでいた。	
エコでアートなワークショップ ～あづま袋をつくろう～	1		2	28		6		9				45	京都市ごみ減量会議と京都市ごみ減量めぐるくん推進友の会との共催で行った。あづま袋作りだけでなく、ごみ減量の話もスライドを用いて行った。	エコに関する取り組みとして、あづま袋作りという楽しみだけでなく、環境への意識を高めることにつながった。	
マンカラチャレンジウィーク	5		3	41		6						50	マンカラ大会の練習を兼ねて、多くの子たちとのマンカラ対戦を行った。	大会に向けてモチベーションが上がった。また、チャレンジカードを用意したことで多くの子がチャレンジしてくれた。	
ハイザイアート	1	2	2	33	2	6		3		2	2	52	スタジオぐるりに協力を得て、使われなくなった素材から自由な発想で工作を行う取り組みを行った。	小学生だけでなく地域の乳幼児親子の参加もあった。廃材から自分の作品を作ること、工作心や遊び心だけでなく環境への意識を高めることにもつながった。	
水あそび	1			19	1	2						22	館の庭に出て、水鉄砲や水風船など、水遊びを行った。	季節の行事として行うことができ、また子どもたちもとても喜んでくれた。次年度はもう少し回数を増やすことを検討したい。	
マンカラ大会	1		2	11	3	3						19	マンカラの優勝者を決めるトーナメント戦を申込制で行った。	普段の児童館では感じる事が少ない緊張感の中、真剣勝負で試合を行えたことが子どもたちの貴重な経験・成長につながった。	
食品ロス削減講座	1		1	28		4		3			6	42	京都府消費生活安全センターの主催で、大学生による食品ロス削減についての講座を行った。	パネルシアターなどを用いて小学生にもわかりやすく食品ロスが伝わるようにされており、参加者はそれぞれ食べ物を無駄に残さないといった意識を高めることができた。	
防犯教室	1		2	29		4		1				36	下鴨警察署スクールサポーターに講師として来ていただき、自分の身を守るために大切なことなどを学んだ。	いつもと違うことがあればすぐに誰かに伝えるということに的を絞って教えてくださったことで、参加者の心にもしっかりと残った様子であった。	
エコでアートなワークショップ ～ミサンガを作ろう～	1		2	31	2	2		6				43	京都市ごみ減量めぐるくん推進友の会の協力で、衣服からほどいた毛糸を使ったミサンガ作りを行い、スライドを交えて衣服ロスについて学んだ。	ミサンガ作りという楽しさと、衣服ロス問題への学びという、両面から子どもたちがエコについて学べる機会となった。	
あったかプレゼント作り	16		10	107		10						127	「ようせいあったかおとどけ隊」当日に渡すプレゼント(千支の絵馬)作りとメッセージ書きを行った。	心を込めて作ったプレゼントで地域の高齢者の方が喜んでいただけるという経験が、子どもたちの達成感や自己有用感の向上につながった。	
防災避難訓練	1		1	15				5				21	左京消防署、養正自主防災会、養正消防分団と連携をして、小学校まで避難を行う訓練をおこなった。	毎月の避難訓練だけでなく年に1回であっても地域と連携を行い訓練を行うことで、参加者により強く防災意識を高めることができています。	
体育館であそぼうスタッフ会議	4					15						15	「体育館であそぼう！」に向けた企画・準備を行った。	全員が楽しめるようにアイデアを出したり、短時間で準備もスムーズに行ってくれた。	
ハロウィンデイスタッフ会議	2				3							3	ハロウィンデイに向けて企画・準備を行った。	ハロウィンあそびコーナーの準備や当日のお菓子配布等、しっかりと役割を果たしてくれた。参加を増やす工夫が必要。	
ようせいワイワイフェスタ高学年スタッフ会議	1					3						3	ようせいワイワイフェスタに向けて企画・準備を行った。	人数が少なかったため、もう少し積極的な広報を行う必要があった。	

基  
本  
活  
動

育 成 機 能	クリスマス会スタッフ会議	1				1	1					2	クリスマス会に向けて企画・準備・練習を行った。	企画・準備・当日と自分たちから積極的に取り組んでくれて、達成感につながっていた。		
	4) クラブ活動															
	けん玉・こまクラブ	23		7	156	1	23	2					189	持ち方や回し方から練習をし、様々な技の習得に向けて練習をする。	職員に指導を受け、コツを教えてもらいながら練習を進めていた。クラブ以外の時間にも、こまやけん玉に励む姿が見られた。	
	ぬりえクラブ	24		16	248	1	24						289	きれいにぬるコツをつかみ、様々なぬりえを楽しむ。	前後期ともに申込人数が多く、とても人気のクラブとなっていた。また、半期ごとのぬりえコンクールを楽しみにしてぬりえに励んでいる子どももおり、各々の活動が充実していた。	
	卓球クラブ	38		56	51	36	10		1		2		156	ラケットの持ち方やサーブの打ち方など練習しながら、卓球を楽しむ。	6月に開催されたなかよし卓球大会に向けての練習として高学年の参加も見られたり、卓球への意欲を高めることにつながっていた。	
	リズムゴムとびクラブ	24		4	207		8							219	歌に合わせてゴムとびをする。色々な歌に合わせてられるよう、練習を重ねる。	半期ごとの申込制として、子どもたちの集中力の持続につながった。目標に向けてしっかりと練習に励む子どもたちの姿が多かった。
	高学年クラブ	10				53	19							72	毎月1回、子どもたちが企画した内容で、クラフトや水あそび、クッキング、遠足などを行った。	自分たちがやりたいことを形にしていこうという経験でき、子どもたちの満足度は高かった。最後の回には、夜20時30分までの楽しナイトプログラムを行うこともでき、次年度への意欲を高めることにつながった。
	5) 地域間交流促進活動															
	左京・東山児童館学童保育所なかよし卓球大会への参加	1		1	2	2	2							7	参加希望者を募って、なかよし卓球大会に出場した。	低学年、高学年それぞれ大会への気持ちを持って参加ができ、普段の児童館での練習とは違う雰囲気と気持ちを体験することができた。
	6) 障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進															
	7) 思春期児童の活動支援															
	開放デイ	12							44					44	中高生対象行事として、中高生のしたいことができる日として行った。	普段来館している中学生が来てくれ、普段とは違う遊び等を提案できたので、より一層の来館定着につながった。また、中学生の声からかき氷やクレープ作りを行うことができ、新しい展開にもつながることができた。
	中高生世代と赤ちゃんと の交流活動 『にこにこうんどうかい』	1	13						28	12				53	高野中学校と連携して、幼児親子と中学生とのふれあい運動会を行った。	中学生がとても積極的に幼児親子に関わる姿が見られて、よい交流となった。行事後のアンケートからは中学生にとっても保護者の方にとっても、楽しく有意義な行事となったことがうかがえた。
	中高生世代と赤ちゃんと の交流活動	4	48						56	18				122	東山総合支援学校と連携して、講師に助産師を招いての赤ちゃん講座、元児童館保護者による子育て講座を行った。命の成り立ちや出産、子育てについて学ぶ。子育て講座では、養正保育所の園児が来館し、遊びを通しての交流も行った。	関心を持ちながら積極的に参加する生徒の姿が多く見られ、活動終了後の感想では、命の成長への理解や自身の愛情の再確認などが聞かれた。連続講座とすることで、より深い理解へ繋げることができ、将来へのイメージを広げることができている。
合 計	215	64	143	1761	107	255	132	95	0	12	3		2572			
推 進 活 動	9) 地域を知る活動															
	10) 移動児童館活動															
	体育館であそぼう	1	1	3	31	1	10		2				48	体育館で、逃走中や紙皿ひこうき飛ばしなど、のびのびと遊びを楽しむ。	広い体育館で走り回り遊べたことで、あそびの楽しさや体を動かすことの楽しさを共有することができた。スタッフの子どもたちも上手に盛り上げてくれていた。	
	合 計	1	1	3	31	1	10	0	2	0	0	0	48			
子ども育成機能 合 計	216	65	146	1792	108	265	132	97	0	12	3		2620			

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。  
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。  
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。